



# チバリヨーパー パト!

## 最終回

ロビンソン・パトリック  
Patrick Robison  
2008年8月から国際交流員として、  
浦添市役所国際交流課に配属される。  
米国アイダホ出身。

文・英訳：ロビンソン・パトリック

### バイバイ沖縄

私達の人生には、「始まり」もたくさんあれば、「終わり」もたくさんありますね。私は今月、丁度そういう立場にいます。浦添市の国際交流員としての任期が終わり、2年間沖縄で過ごした後に、出身地のアイダホ州に帰ることにしました。この特別な島から離れるのを切なく思いながら、恋しくなった家族や友達に再会することを楽しみにしています。この悲喜こごももの気持ちは、英語で「bittersweet-甘くて苦い」と言います。

沖縄の思い出に深く染められた「肝(チム)」を持って帰ります。私にとって、ここで生活をするのはおもてなしと思いやりを勉強する機会となりました。そういえば、最近初めて三線の歌を作ってみました。その中でこういう歌詞があります(原曲の歌詞は英語で書きました):

与えられた親切を一つ一つ花に変えることができれば、  
私の人生はきっと虹型のようにきれいな庭になるでしょう

この歌詞は私にとって色々なことを表す表現です。沖縄での思いやり、亜熱帯の島である沖縄の鮮やかな自然、そして伝統文化と現代生活の非常に強い繋がりについての思い、全部織り込まれています。こういうところが沖縄を特別な場所にするのだと思い、私に一生消えない印象を残しました。

数え切れないほど何度も経験してきた「親切」は多種多様でした。この機会を利用して、皆さんに感謝の気持ちを伝えたいと思います。職場で何か何だか分からなかったときに指導してくれた皆さん、ありがとうございます。私の出身地に興味を持ってくださった方々、ありがとうございます。とてもおいしい手作りのデザートくれた幼稚園の先生達とおババ達、ありがとうございます。三線好きな友達、まったく分からないうななぐちでの歌詞の意味を教えてください、ありがとうございます。怖がらずに友達になって、「一緒にがじゅまるの木に登ろう」と誘ってくれた浦添の幼稚園生達、ありがとうございます。このリストではまだ全然足りませんが、これまでお世話になった皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいです。

今後、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。もしアイダホ州の起伏に富んだ山と豊かな自然を訪ねる機会がありましたら、是非私のいるポカテロ市にも寄ってくださいね。いっぺんにぶえーびる & ぐぶりーさびら!

### To Everything There is a Season

There are many beginnings and endings in the course of our lives, and this month I find myself at just such a juncture; my time as Urasoe's Coordinator for International Relations is now up, and I plan to return to my hometown in Idaho this month after two years of life on Okinawa. I am filled with sadness at the thought of leaving this unique place, yet overjoyed at the prospect of spending time with my family and friends, whom I have grown to miss more and more the longer I am away from home. In English we call this mixed emotional state "bittersweet."

I will be leaving in possession of a heart dyed deep with memories of Okinawa; for me living here has been an ongoing lesson in courtesy and kindness toward others. In relation to this, I recently wrote my first song (albeit in English) for sanshin, including this lyric about my experiences here:

If I had a flower for every kindness offered me, my life would be a garden, a bingata dream

Perhaps it's not the most epic verse ever created, but for me it sums up a number of things. It highlights the way people treat each other here, the vibrant quality of nature on subtropical Okinawa, and the remarkably strong connection between traditional arts and modern life which exists here. These are all things which make Okinawa different from any place I have ever been and which have left an indelible impression on me.

The kindnesses offered me have taken on a number of different forms, and I'd like to take this opportunity to express my appreciation. Thanks to those who helped me at work when I had no idea what was going on. Thanks to those who were kind enough to take an interest in my homeland. Thanks to all the kindergarten teachers and friendly grandmas for the delicious homemade desserts! Thanks to my sanshin playing friends for explaining all those Okinawan lyrics that I didn't understand. Thanks to all the Urasoe kindergarten students I met who befriended me without hesitation, then urged me to climb high up into the gajumaru tree with them. This list is by no means complete, but I hope it will at least serve to symbolize my feelings of happiness and gratitude.

I wish all of you sound health and much joy in the coming years. If perchance you have the occasion to visit Idaho and see our magnificent mountains and wild forests, please don't forget to look me up in Pocatello while you're there. Ippé nifédebiru & guburi sabiral



2010年度派遣・青年海外協力隊  
新里篤史さん

# JICA青年海外協力隊派遣 出発インタビュー

浦添市前田出身の新里篤史さんが、青年海外協力隊として今年6月から2年間ネパール連邦共和国に派遣されました。地域の人手と協力しながら、女性グループの活動支援、青少年向け教育・啓発プログラムの運営などを行います。出発直前に市役所を訪問した新里さんに、現在の心境や目標をインタビューしました。

Q. JICAボランティアに応募したきっかけは?

A. 小学生の頃から、年に2回ほど国際センターの外国人と交流していました。その経験から、国際交流は僕にとつ

て身近なものとなり、国外で活動することもスムーズに受け入れることができました。ボランティアに応募したのは、中学や大学生のときに海外で暮らした際、海外においての積極的なボランティア活動を目の当たりにしたことがきっかけです。

Q. 現地での活動において目標はありますか?

A. 要請の実現が目標ですが、住民のニーズに応えられるような活動を行っていきたくです。僕は大学を卒業したばかりで、実践経験も知識も十分ではないけれど、自分が携われることは全力で取り組みたい。僕の一生懸命な姿を見て、ネパールの人たちが「外国人ががんばっているのなら、自分たちもがんばってほしい」と考えるようになって、ネパールの自立に寄与することが一番の目標です。そのことが地域開発の第一歩だと思っています。



ネパール  
連邦共和国

ネパール連邦民主共和国  
Federal Democratic  
Republic of Nepal  
北を中国チベット自治区、東・西南をインドに囲まれた内陸国。首都はカトマンズ。  
中国国境に接する北部には、エベレストを有するヒマラヤ山脈がある。

Q. 現在の心境と抱負をお願いします。  
A. 現地の食べ物や、言葉に関する不安はありません。むしろ住民と共に活動し、慣れることでネパール人になりたい。現地での生活で、日本の習慣を持ち込むつもりはありません。現地の人になってネパール人の視点を持つとともに、ときには外国人の視点からネパールに接して、この国を良くしていきたいです。

# パトリックの 2年間を振り返って

平成20年8月から国際交流員として交流活動や通訳、翻訳活動等を精力的に行ってきたパトリックさんの2年間の任期が終了しました。お疲れさまでした。



毎月のFM放送ではチバリヨーパーの紹介&生演奏を披露!



沖縄とアフリカの子供達と琉球舞踊に挑戦!



浦添実字マップを作りました!



ハロウィンパーティーにて



2年間で三線もかなり上手くなりました!



児童センターで子ども達と交流中



料理講座でのコマ

※今月号のギャラリーはお休みたいです。

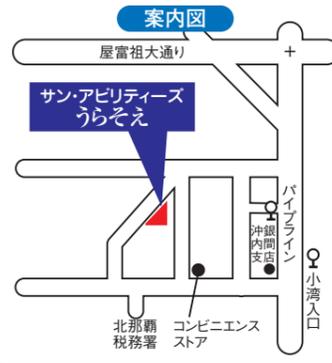
# サン・アビリティーズうらそえのご案内

「サン・アビリティーズうらそえ」は、障がい者の皆さんが、スポーツ・文化活動を通して、機能回復・健康増進と教養文化の向上を実現する、スポーツレクリエーションの場として設置されました。

この施設では、車イスバスケット、車イスサッカー、車イスラグビー、ボッチャ、水泳、ゲートボール、囲碁、書道等サークルの活動や、スキューバダイビング等の屋外スポーツも活動しています。

一般市民の方もご利用できますので、スポーツ・教養・文化活動を通して、交流を深めてはいかがでしょうか!

- 施設内容
  - ・教養文化室(和室)・研修室・体育館
  - ・音楽室・卓球室・談話点字図書コーナー
  - ・トレーニング室・温水ミニプール等
- 利用時間
  - ・午前9時～午後10時
- 休館日
  - ・月曜日(国民の祝日にあたる場合はその翌日)
  - ・年末年始(12月28日～1月3日)



問い合わせ  
サン・アビリティーズうらそえ  
☎876-3477  
福祉課障がい福祉係  
☎876-1234(内線3564)